



2010

ミニディスクロージャー誌

第107期 営業のご報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



こころのぎんこう

長崎銀行

ごあいさつ



日頃より、長崎銀行を格別にお引き立ていただき、心からお礼申し上げます。

さて、長崎銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくために「長崎銀行ミニディスクロージャー誌2010」を作成いたしました。本冊子では当行の平成21年度経営内容や考え方をわかりやすく説明しております。皆さまのご理解を深めることができましたら幸いに存じます。

今後とも、皆さま方のなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役頭取 **大場 剛**

CONTENTS

●経営方針	2
●決算ハイライト	3
●資産の健全性	5
●地域社会貢献／トピックス	6
●地域密着型金融推進への取り組み	7
●個人のお客さま向けサービスのご案内	8
●財務諸表	9
●株式のご案内	10
●ネットワーク一覧	裏表紙

プロフィール

(平成22年3月31日現在)

創 業	大正元年(1912年)11月11日
資 本 金	41億円
総 資 産	2,818億円
自己資本比率	8.19%
預 金 残 高	2,655億円
貸 出 金 残 高	2,018億円
店 舗 数	32か店
行 員 数	341名

※計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

経営方針

経営理念

長崎銀行は、地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行をめざして、さらに努力してまいります。

「お客さま本位」のもと

「健全経営」に徹し

「地域社会に奉仕」する

経営方針

長崎銀行は経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。

いつも「お客さま第一」の精神に基づき、より良い金融サービスの提供に努め、地域の皆さまの信頼と期待に応え得る銀行をめざします。

お客さま本位

健全経営

健全経営を通して強固な経営体質を築き、地域社会の繁栄に奉仕してまいります。

人材の育成

環境の変化に柔軟かつ機敏に対応できる行動力とチャレンジ精神を持った行員の育成に努め、行員一人ひとりが持てる力を十分に発揮できる、のびのびと活動的な風通しのよい企業風土の確立をめざします。

経営姿勢

長崎銀行は健全経営を堅持し、地域の皆さまとともに歩む銀行であることを願い、つねに「お客さま第一」の精神に基づき、お客さまとの信頼のきずなを深めてまいりました。

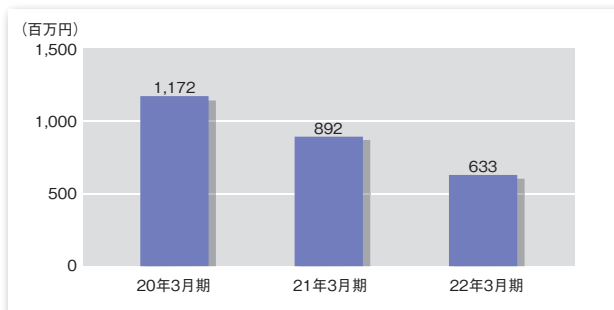
これからも、親会社である西日本シティ銀行とも十分連携し社会の変化を先取りできる清新はつらつとした行員の育成に努め、地域金融機関としての使命をもって、地域に密着し、地域社会の発展に奉仕するとともに地域に支持される銀行をめざして努力を重ねてまいります。

決算ハイライト

損益

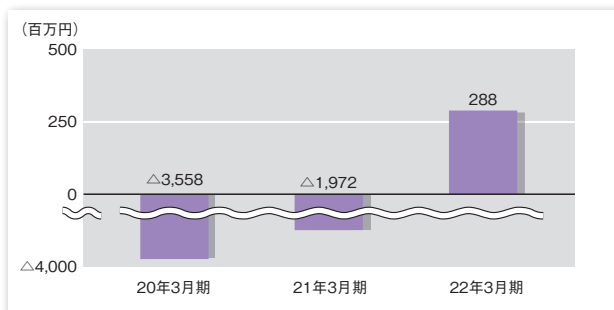
コア業務純益

コア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息の減少を主因として前期比2億59百万円減少し、6億33百万円となりました。



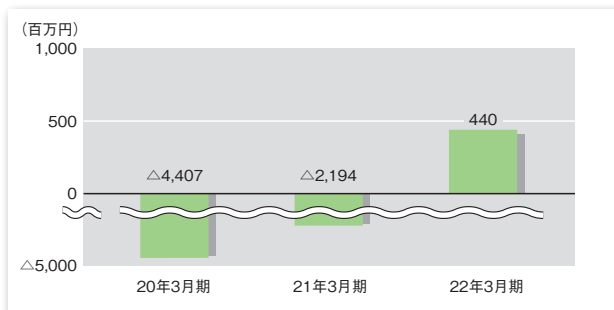
経常利益

経常利益は、コア業務純益が減少となったものの、信用コストの減少を主因として前期比22億60百万円増加し、2億88百万円となりました。



当期純利益

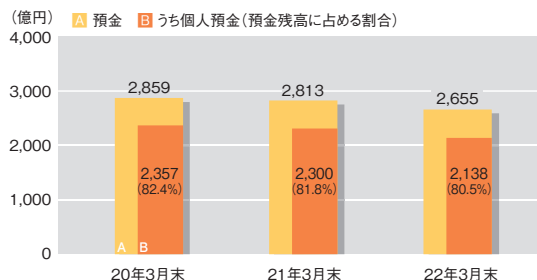
当期純利益は、経常利益の増加及び特別損益である貸倒引当金戻入益の計上により前期比26億34百万円増加し、4億40百万円となりました。



1. **コア業務純益**とは 預貸金業務などによる資金利益や投資信託等の販売手数料などの役務取引等収益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行本来の業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。
2. **経常利益**とは 銀行の通常業務での利益を表したもので、通常業務で発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。
3. **当期純利益**とは 経常利益に特別に発生した利益と損失（特別利益、特別損失）と税金等を加減算したもので最終的な利益です。

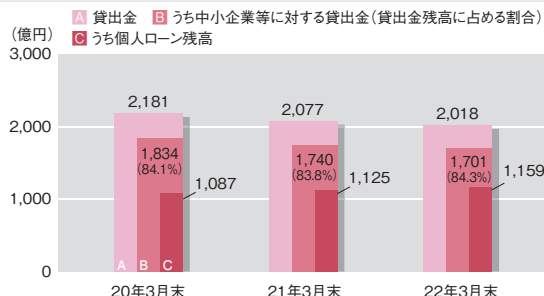
預金

預金は、個人預金を中心に積極的な営業活動を行いました。が、前期末比158億円減少し、2,655億円となりました。また、個人預金は、前期末比162億円減少し、2,138億円となりました。



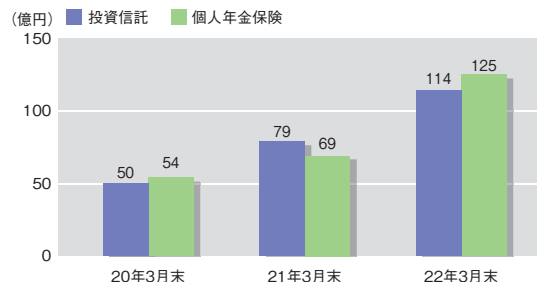
貸出金

貸出金は、個人・中小企業などのリテール部門を中心とした資金需要に積極的な対応を行いました。が、事業性貸出金の減少により、前期末比59億円減少し、2,018億円となりました。しかしながら、個人ローン残高は、前期末比34億円増加し、1,159億円となりました。また、中小企業向け貸出金残高は、前期末比39億円減少し、1,701億円となりました。



預り資産

預り資産は、投資信託が前期末比35億円増加し114億円、個人年金保険が56億円増加し125億円となりました。



(注) 投資信託：残高、個人年金保険：販売累計額

資産の健全性

不良債権の状況

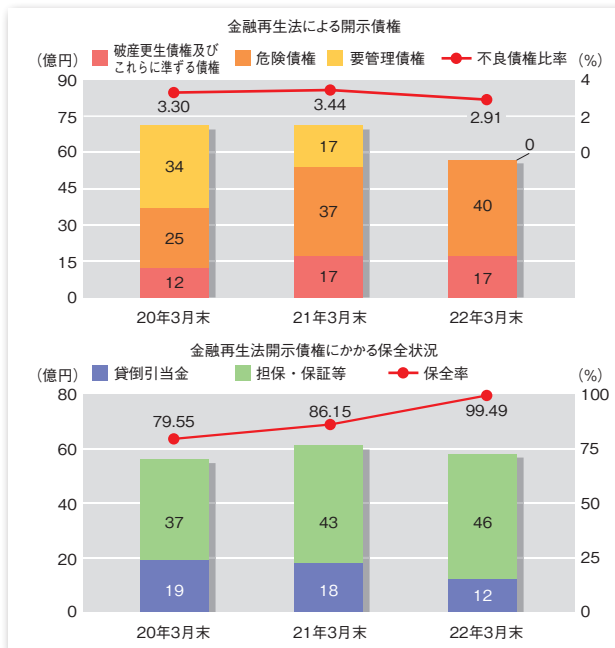
平成22年3月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前期末比12億円減少の59億円となり、不良債権比率は前期末比0.53%低下し、2.91%となりました。

また、保全率については、99.49%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。

今後も引き続き、不良債権残高の縮減を図るとともに、新規発生防止に努めてまいります。

金融再生法に基づく開示債権の状況（平成22年3月末）（億円）

	債権額 (A)	貸倒引当金 (B)	担保・保証等 (C)	保全率 (B + C) ÷ (A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17	2	14	100.00%
危険債権	40	9	31	99.69%
要管理債権	0	0	0	76.63%
小計	59	12	46	99.49%
正常債権	1,965			
合計	2,024			



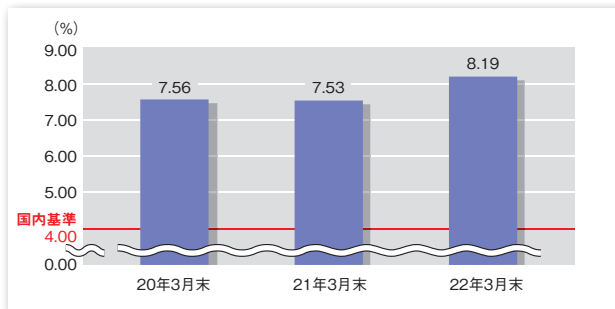
用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権** 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始申立て等の事由により経営破綻した債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権** 債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができない可能性の高い債権。
- 要管理債権** 3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権。
- 正常債権** 債務者の財政状況などに特段の問題が無く、上記以外に区分される債権。

自己資本比率

自己資本比率とは、総資産（資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額）に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成22年3月末の自己資本比率は、8.19%と国内基準を上回っております。



地域社会貢献／トピックス

地域社会貢献

■ 市民大清掃参加

美しいまちづくりに対する市民の意識の高揚を図り、快適な環境を築いていくことを目的として毎年長崎市で行われる“市民大清掃”。毎年、多くの役職員が参加し、きれいなまちづくりのための清掃活動に取り組んでおります。



■ 長崎くんち参加

「長崎くんち」は長崎市民の氏神、鎮西大社諏訪神社祭礼行事で、毎年10月7日から3日間、町をあげて催されます。この「長崎くんち」は、国指定重要無形民俗文化財にも指定されております。

奉納踊りを担当する踊町、祭りの世話役にあたる年番町は旧長崎市内の各町が交代で務めており、支店のある町や行員の住む町が当番にあたるときは、役職員やその家族が根曳（山車の曳き手）、世話人として参加し、地域の皆さまのお手伝いをさせていただいております。



トピックス

■ 平成22年2月：資産運用セミナー（県内各地）

「資産運用の必要性」他、専門家による現在の投資環境や今後の見通し等についてわかり易く説明するセミナーを開催いたしました。



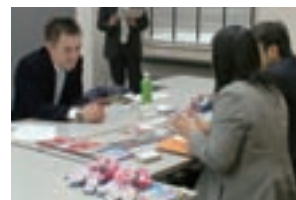
■ 「NCB発！九州地産地消ネットワーク拡大商談会」

平成21年10月九州の食品関連企業の販路拡大支援を目的に、(株)ハローディ、(株)ボンパラス、(株)サークルKサンクスへの商品納入を希望する企業を対象とした、西日本シティ銀行グループ合同の商談会を開催いたしました。



■ 西鉄グループとの合同商談会

平成22年1月九州各地の商材について販路拡大の機会提供を目的に、福岡県内を中心に店舗を展開している西鉄グループ3業態の量販店への商品納入を希望する企業を対象とした、西日本シティ銀行グループ及び、肥後銀行、鹿児島アグリ&フード金融協議会との共催による商談会を開催いたしました。



地域密着型金融推進への取り組み

当行は、西日本シティ銀行グループのエリアカンパニーとして、長崎県内を中心にリテール分野に特化し、多様化したニーズや質の高い金融サービスの提供等、お客さまの要望に十分お応えできる地域金融機関を目指し、役職員一丸となって取り組みを進めております。

今後も引き続き、「地域密着型金融推進」における3つの大きな柱である「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」「事業価値を見極める融資をはじめ、中小企業に適した資金供給方法の徹底」「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」に努め、地域密着型金融の担い手としての役割を發揮してまいります。

① ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

西日本シティ銀行グループ及びリサ・パートナーズ・グループとの連携を図りながら、「事業再生」「創業・新事業支援」「経営改善支援」「事業承継」等の業務に積極的に取り組み、取引先企業のライフサイクルに応じたきめ細かい支援を行っております。

② 事業価値を見極める融資をはじめ、中小企業に適した資金供給方法の徹底

無担保・第三者保証人原則不要商品である「ながさき事業者ローンⅡ」の取り扱いなど、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を推進し、地域の中小企業金融の円滑化に努めております。また、事業性融資に関する開拓能力及び融資能力の向上に努め、取引先企業の経営改善のお手伝いが出来る人材の育成に努めております。

■「ながさき事業者ローンⅡ」取り扱い中

地元中小企業、事業主の皆さま向けの季節運転資金や経営安定資金にご利用いただく、無担保・第三者保証人原則不要商品である「ながさき事業者ローンⅡ」の取り扱いを行っております。

- ・ご融資金額：1百万円～5百万円
- ・期 間：短期1年以内、長期7年以内
- ・お使いみち：事業資金に限ります

※詳しくは、担当者又は窓口でお気軽にお尋ねください。

③ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

「商談会」「各種セミナー」の開催、「ローンプラザ」の設置等による地域に対する情報の提供及び「利用者満足度アンケート」の結果に基づくCS向上策の策定・実践により、お客さまや地域のニーズにあった質の高い金融サービスの提供を通じて、地域社会の活性化・発展に取り組んでおります。

平成21年12月、「中小企業業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」が施行され、地域金融機関においては、中小企業又は住宅ローン借り手の皆さまの負担軽減に努めると同時に、経営改善支援への相談・指導といったコンサルティング機能のさらなる発揮が求められております。

当行は、より適切かつ十分な金融仲介機能を發揮するため、金融円滑化推進への取り組みをさらに強化してまいります。

■ ご相談・お申込み、及び苦情等受付窓口の体制について

中小企業者のお客さま	住宅ローンご利用のお客さま
・すべての営業店ご融資窓口	・すべての営業店ご融資窓口 ・ながさきローンプラザ  0120-64-7171

上記窓口の営業店長を「金融円滑化相談責任者」とし、金融円滑化に関するお客さまからのご相談・お申込み、及び苦情等に対応するとともに、その内容の把握や進捗管理に努めます。

金融円滑化に関する苦情相談電話窓口
 0120-855-875 【受付時間】平日9：00～17：00（銀行窓口休業日を除く）

お客さま相談室内に「金融円滑化対応苦情相談窓口」を設置し、お客さまからの苦情等に直接対応いたします。

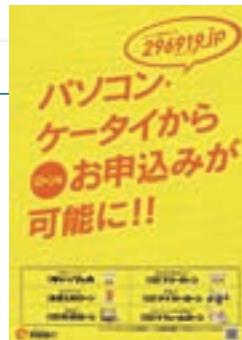
個人のお客さま向けサービスのご案内

■ ご来店不要でローン申込ができる窓口があります

「ローンの相談はしたいけど店頭まで行く時間が無くて…」そんなお客さまに気軽にご利用いただきたいフリーダイヤルがあります。ローン商品のご相談やお申込みができる「ダイレクト営業室」です。

また、パソコンや携帯電話画面でいつでも便利に各種ローンのシュミレーションやご相談、仮審査のお申込みなどができるローン専用サイト「296919.jp」もご利用ください。

ローン商品については	
ダイレクト営業室 ツクロー クイック ☎ 0120-296-919	ローン専用サイト URL 296919.jp ヘアアクセス



各種ローンのご案内

① ながさきキャッシュA

インターネット・お電話・FAXでのお申込みが可能なカードローンです。
全国の銀行、ゆうちょ銀行等のATMでご利用いただけるので急な出費にも安心です。

② ながさきEZフリーローン

手続き簡単、自由に使える便利なローンです。

③ ながさきEZマイカーローン

新車・中古車のご購入、現在ご返済中の自動車ローンのお借換えにもご利用いただけます。

④ ながさきEZ教育ローン

お子様の教育資金や、ご自身の自己啓発費用等、幅広くご利用いただけます。

⑤ ながさきEZリフォームローン

小ざなりフォームから大改装まで。最高1,000万円までお申込みいただけます。
他金融機関からのお借換えにもご利用になれます。

⑥ ながさきおまとめローン

複数のローンやクレジットを“一本化”して、月々のご返済額やお支払総額を軽減することを目的としたローンです。

(注) 銀行及び保証会社所定の審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。



■ 週末も住宅ローンのご相談にお越しください



「土日にくっく住宅ローンの相談をしたいな。」さまざまな生活スタイルのお客さまが気軽に住宅ローンについてご相談いただけるように、土・日曜日の相談窓口として「ながさきローンプラザ」を開設しております。

ご自宅の新築・ご購入、既存の住宅ローンのお借換などの住宅に関するローンについてお気軽にご相談ください。

(注) 営業時間、営業日については、右表をご覧ください。

◎住宅（新築・購入） ◎アパート ◎借り換え

資金計画、お借り入れについてご相談を承っております！

個人のお客さまをはじめ、ハウスメーカーの方もお気軽にお立ち寄りください。

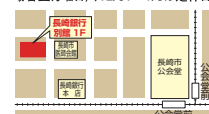
◎平 日／AM10:00～PM7:00
◎土・日曜日／AM 9:00～PM5:00

※但し、毎週水曜日、祝日（祝日が日曜日の場合翌月曜日）、12/31～1/3は定休日

◎ながさきローンプラザ

☎ **0120-64-7171**

長崎県市栄町1-15 長崎銀行別館 1F
TEL 095-829-4371 FAX 095-829-4372



財務諸表

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	74,009
現金	3,905
預け金	70,104
商品有価証券	3
商品国債	3
貸出金	201,837
割引手形	1,411
手形貸付	4,044
証書貸付	190,568
当座貸越	5,812
その他資産	1,603
未決済為替貸	18
前払費用	5
未収収益	393
その他の資産	1,186
有形固定資産	5,743
建物	788
土地	4,473
リース資産	134
その他の有形固定資産	346
無形固定資産	142
ソフトウェア	121
その他の無形固定資産	21
繰延税金資産	503
支払承諾見返	341
貸倒引当金	△2,373
資産の部合計	281,811

(単位：百万円)

科目	金額
負債の部	
預金	265,507
当座預金	4,116
普通預金	52,825
貯蓄預金	362
通知預金	218
定期預金	203,169
定期積金	919
その他の預金	3,895
借入金	4,000
借入金	4,000
その他負債	1,350
未決済為替借	22
未払法人税等	16
未払費用	911
前受収益	69
従業員預り金	0
給付補てん備金	1
リース債務	134
その他の負債	194
退職給付引当金	729
役員退職慰労引当金	124
睡眠預金払戻損失引当金	31
偶発損失引当金	68
再評価に係る繰延税金負債	1,127
支払承諾	341
負債の部合計	273,279
純資産の部	
資本金	4,121
資本剰余金	2,500
その他資本剰余金	2,500
利益剰余金	440
その他利益剰余金	440
繰越利益剰余金	440
自己株式	△35
株主資本合計	7,026
土地再評価差額金	1,504
評価・換算差額等合計	1,504
純資産の部合計	8,531
負債及び純資産の部合計	281,811

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	6,874
資金運用収益	6,138
貸出金利息	5,557
有価証券利息配当金	370
コールローン利息	20
預け金利息	190
その他の受入利息	0
役務取引等収益	554
受入為替手数料	143
その他の役務収益	410
その他業務収益	25
商品有価証券売買益	0
国債等債券売却益	25
国債等債券償還益	0
その他経常収益	156
株式等売却益	8
その他の経常収益	147
経常費用	6,586
資金調達費用	998
預金利息	917
借入金利息	77
その他の支払利息	2
役務取引等費用	823
支払為替手数料	24
その他の役務費用	799
その他業務費用	0
国債等債券売却損	0
国債等債券償還損	0
営業経費	4,343
その他経常費用	420
貸出金償却	219
株式等売却損	0
株式等償却	86
その他の経常費用	114
経常利益	288
特別利益	280
貸倒引当金戻入益	154
償却債権取立益	125
特別損失	26
固定資産処分損	26
税引前当期純利益	541
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等調整額	90
法人税等合計	101
当期純利益	440

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	6,316
当期変動額	
資本の減少	△2,194
当期変動額合計	△2,194
当期末残高	4,121
資本剰余金	
その他資本剰余金	
前期末残高	2,500
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	2,500
資本剰余金合計	
前期末残高	2,500
当期変動額	
当期変動額合計	—
当期末残高	2,500
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	
前期末残高	△2,194
当期変動額	
資本の減少	2,194
当期純利益	440
当期変動額合計	2,635
当期末残高	440

科目	金額
利益剰余金合計	
前期末残高	△2,194
当期変動額	
資本の減少	2,194
当期純利益	440
当期変動額合計	2,635
当期末残高	440
自己株式	
前期末残高	△35
当期変動額	
自己株式の取得	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	△35
株主資本合計	
前期末残高	6,586
当期変動額	
資本の減少	—
当期純利益	440
自己株式の取得	△0
当期変動額合計	440
当期末残高	7,026
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	△2,513
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,513
当期変動額合計	2,513
当期末残高	—

科目	金額
土地再評価差額金	
前期末残高	1,504
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	—
当期変動額合計	—
当期末残高	1,504
評価・換算差額等合計	
前期末残高	△1,008
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,513
当期変動額合計	2,513
当期末残高	1,504
純資産合計	
前期末残高	5,578
当期変動額	
当期純利益	440
自己株式の取得	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,513
当期変動額合計	2,953
当期末残高	8,531

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式のご案内

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。
定 時 株 主 総 会	毎年4月1日から3か月以内に開催いたします。
配 当 金	毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
基 準 日	定時株主総会の基準日については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公 告 掲 載 新 聞	「日本経済新聞」及び「西日本新聞」に掲載いたします。

株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株 式 事 務 取 扱 場 所	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号 日本証券代行株式会社福岡支店 電話 福岡 (092) 741-0284
郵 便 物 送 付 先 お 問 合 せ 先	〒137-8650 東京都江東区塩浜2丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-707-842 (その他のご照会) ☎0120-707-843
同 取 次 所	日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

■店舗一覧

(平成22年3月31日現在)

長崎県	◎本店営業部	☎095-825-4161
	◎銅座町支店	☎095-826-9261
	◎千歳支店	☎095-849-1130
	◎浦上支店	☎095-844-0104
	◎新大工町支店	☎095-826-6361
	◎思案橋支店	☎095-826-7146
	◎長崎駅前支店	☎095-826-9338
	◎滑石支店	☎095-856-2161
	◎江川支店	☎095-878-5115
	◎城山支店	☎095-847-1020
	◎長与支店	☎095-883-6221
	◎新戸町支店	☎095-878-1709
	◎戸石支店	☎095-830-1121
	◎時津支店	☎095-840-2230
	◎諫早支店	☎0957-22-3347
	◎大村支店	☎0957-52-3181
	◎島原支店	☎0957-62-4121
	◎口之津支店	☎0957-86-4151
	◎有明支店	☎0957-68-1131
	◎三会支店	☎0957-62-6868
	◎西大村支店	☎0957-53-6210
	◎佐世保支店	☎0956-22-6171
	◎大崎支店	☎0959-34-2051
	◎早岐支店	☎0956-38-3151
	◎大瀬戸支店	☎0959-22-0073
佐賀県	◎佐賀支店	☎0952-24-2281
	◎唐津支店	☎0955-72-5148
	◎有田支店	☎0955-42-4104
熊本県	◎熊本支店	☎096-352-7155
	◎八代支店	☎0965-32-3161
	◎天草支店	☎0969-22-5221
	◎水前寺支店	☎096-381-9281

(注) ・◎…土曜日、日曜日、祝日にATMコーナーがご利用いただけます。
・ATM稼働時間内はご入金ができます。

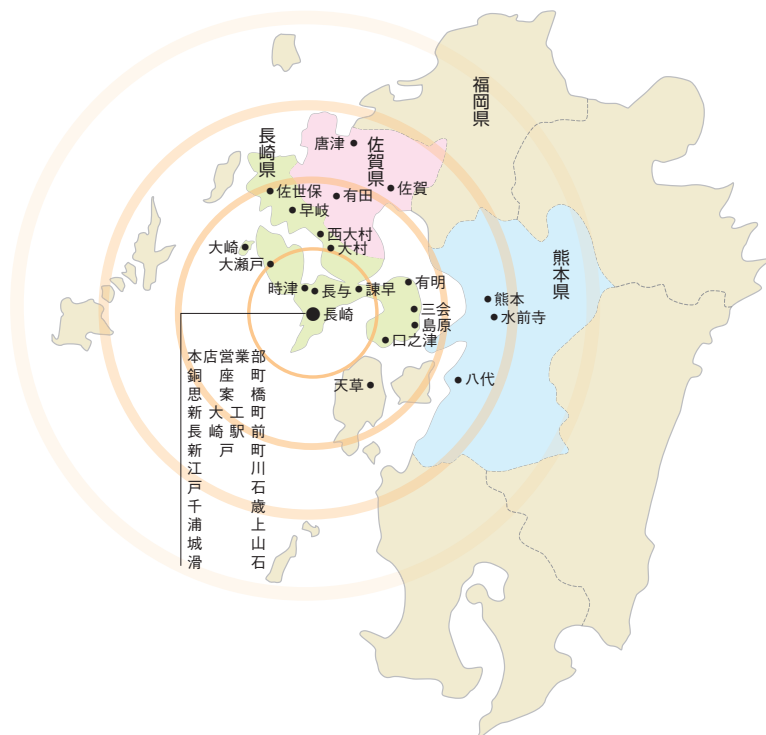
■店舗外キャッシュコーナー

(平成22年3月31日現在)

ATM	◎三原台病院
	◎夢彩都
	◎住吉町
	◎昭和町
	◎道の尾
	◎みらい長崎ココウォーク
	◎浜町
	◎アミューブラザ長崎
	◎滑石ショッピングセンター
	◎ジョイフルサンショッピングプラザ江川店
	◎ジャスコ時津店
	◎ジャスコ東長崎店
	◎福田
	◎ジャスコ大村店
	◎まるたか富の原店

■店舗配置図

(平成22年3月31日現在)



お問い合わせ窓口

キャッシュカードなどを紛失したとき

- 銀行営業日 9:00~17:00は『お取引店』へ
- 上記以外の時間帯は

095-849-6092 ※24時間365日受付

商品の説明・勧誘などについてお気づきの点、ご要望

人事総務部 お客さま相談室

095-829-4100 ※平日9:00~17:00
(銀行窓口休業日を除く)